

令和7年度全国学力・学習状況調査結果報告書

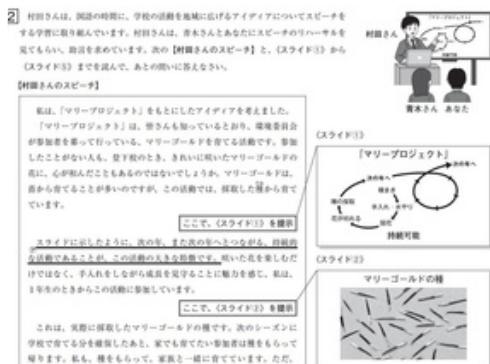
全体的な概要

本校9年生を対象に実施された 本調査の結果について

4月17日（木）、本校9年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。国語、数学、理科、3教科すべてにおいて、全国平均よりも高い結果となっています。無回答率に関して、国語的な説明では自分なりに書こうという姿勢が見え、全国平均を上回っています。日常的な課題に対する言語的処理能力の向上を、日々の取り組みの成果と捉えられそうです。



國語



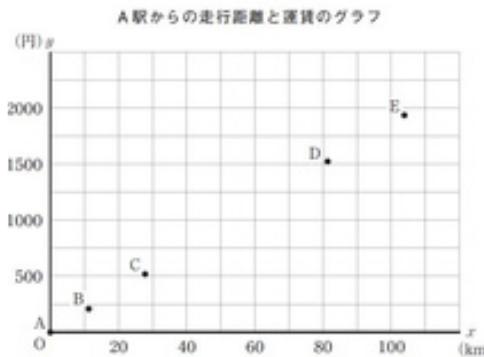
問い合わせへの適切な考え方、丁寧な問題の読み込みを大切に

全体として全国・京都府よりも正答率は高く、これまでの学習の成果が「知識・技能」「思考・判断・表現」とともにあらわれています。しかし、問題の指示に対して適切に答えられていないという課題も見受けられます。何を問われているのかを意識して答えを考え、一語一語の意味を正しく理解して一文の読み取りにつなげていくことが大切になってきます。

 数学

アウトプットの経験値を増やし 確かな計算力を身に着ける

「図形」「データ」特に資料の活用に関しては大きく全国平均を上回っていました。一方で、「数と式」「関数」分野は全国平均を下回っていました。抽象的な数量感覚が今後の課題であり、具体的・視覚的に分かりやすく、日常生活と結びつきやすい部分には成果が出ています。今後はこの強みを活かしながら、様々な数量を扱うことを通じて、課題を克服していくける力を伸ばしていくことが重要になります。



理科



苦手を克服し、
さらなる学力向上を目指して

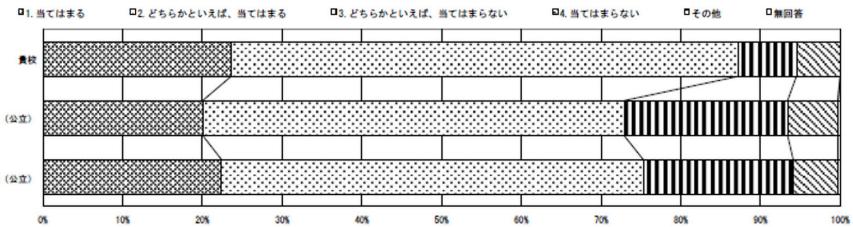
本校の平均正答率は全国平均を上回り、その中でも中～上位層の割合が高くなっていました。単元別の正答率は「化学」「生物」分野は全国平均を大きく上回る結果だったものの、「物理」分野は全国平均よりやや低い結果でした。特に「地学」の分野では正答率が大きく下回るため、地層の成り立ちに関する理解を深めるなど、個々の課題をそれぞれに改善し、思考力が向上していくことを目指していきます。



「未来に向かってしなやかに伸び続ける」

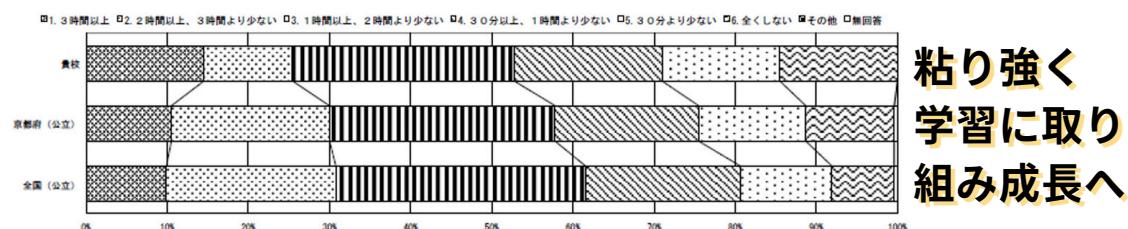
❶ 生徒質問調査① 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」

社会をよりよくするために意欲的



「自分にはよいところがある」「人が困っているとき進んで助ける」なども全国平均よりも高く、自分に自信を持ちながら、周囲の人や環境をよりよくしていこうという姿勢を見取ることができます。本校の非認知能力アセスメントから見えてきた、「他者を信頼する力」が高い人の、自分に自信を持って協働的に問題解決することができる傾向とも合致します。より良い集団作りを各学級で目指すことを通して、一人一人が自信を持って自己実現を図れるように、引き続き教育活動の充実を図っていきたいと思います。

❷ 生徒質問調査② 「普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」



学習時間に関しては3時間以上の割合は全国平均より高いものの、2時間未満の割合も同様に高い値となっています。学習時間に関しては、①学力との関連が一定想定される②本校の非認知能力アセスメントから、「粘り強く取り組む力」が高い人ほど、学力が向上する傾向がある、ことが分かっています。したがって、単元のデザインに基づく、学習の有用性を実感できる授業の実現を通じて、授業が終わっても粘り強く発展的に学習に取り組む態度の醸成を図っていきます。

❸ 全体を通して

子どもたちの可能性を伸ばすために

左記学校教育目標を掲げ、日々の指導方法の改善や、個に合った指導に努めてまいりました。今回の結果を受けての教職員研修も実施し、生徒質問調査からは、これから社会の中で自己実現を図っていく資質・能力の高まりを見取ることができます。個に応じた日々の関わりや声かけを基本に、概念理解と適切な読み取り、数量感覚の伸長に働きかけながら、互いに高め合う授業を目指していきます。



❹ 保護者の皆様へ



ご家庭での子どもたちに対する積極的な関わり

全国学力・学習状況調査は子どもたちの学習状況を知り、その可能性をさらに伸ばし、課題解決するためのものです。学力は学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活・学習習慣が基盤です。結果が全てでなく、順位を競うものではありません。今回の本校の結果は、各ご家庭の支援があつて実現できたものです。引き続きのご協力をよろしくお願ひいたします。